

平成29年11月6日【水道産業新聞】
＜若手社員対象に研修会＞
キーワードは「自己改善」

キーワードは「自己改善」

水コン協 若手社員対象に研修会

全国上下水道コンサル
タント協会(水コン協)
関東支部は10月20日、「若
手社員研修会」を開いた。
受講対象は、社会人経
験5年程度までの、おお



チームの意見をまとめ
プレゼンテーション

むね30歳未満の若手技術
職と営業職系社員。会員
13社から24人が参加し
た。今回が7回目の開催
で、毎年秋に開催し、好
評を得ている。

今回のテーマは、「い
かにして発注者の立場に
立ったコンサルティンク
を行うか、そのためのコ
ミュニケーションは」。
研修は、グループワーク
を通して課題を解決する
手法を理解し、コミュニ
ケーション力の強化を図
ることがねらいとなっ
ている。

水コン協の実行員が、

新人社員と上司、発注者
を演じて再現した「仮想
現場」について、現場に
関する資料も参考にしな
がら、4つのチームで、
それぞれ「問題点と原
因」、「課題と解決策」を
話し合った。出された意
見はカードに書きだし、
論点の関連づけをしなが
ら模造紙に貼る作業を行
い、まとめた結論につい
て各チームの代表がプレ
ゼンテーションした。

実行委員の講評では、
「自己改善」という非常
に良いキーワードが出て
いた。これが、今日の研
修全体を通じたキーワー
ドにもなると思う。「発
注者の悩みを聞くだけで
は不十分。背景にある市

民の利益を把握すること
が大切」「同業他社が一
緒に話し合う機会を、今
後にも生かしてほしい」
という声が出ていた。